

官民による若手研究者発掘支援事業  
(社会実装目的型の医療機器創出支援プロジェクト)  
令和6年度終了課題 事後評価結果

1. 研究開発課題名：12 誘導心電図からの心内心電図情報予測に基づく不整脈疾患精密診断プログラムの開発研究
2. 研究開発代表者氏名（所属）：糀谷 泰彦（京都大学）

【評価（公開）】

12 誘導心電図から不整脈疾患精密診断を可能にする AISaMD の研究開発を行い、事業計画に沿って、カテーテルアブレーション後の不整脈再発予測モデルならびに不整脈疾患基盤モデルを構築し、非発作時の体表心電図から心房細動リスクや脳梗塞発症リスクを高精度に予測する AI モデルの可能性を示唆する成果を得たと評価する。また、開発サポート機関の支援を受けて、研究開発成果の社会実装に向け、競合との差別化や市場性を高める戦略を検討したことや企業導出に向けた交渉を行うなど努力したことを評価する。

以上